

01 法第20条（河川管理者以外の者の施行する工事等）申請

[承認申請書]

承認申請書

(文書番号)・・・①
令和〇年〇月〇日

九州地方整備局長 殿

申請者 住所 〇〇市〇〇町〇〇番地・・・②
氏名 〇 〇 〇 〇 ・・・③

別紙のとおり河川法第20条の承認を申請します。
・・・④

(A4版)

[別紙]

(河川工事)・・・⑤

1 河川の名称..⑥

〇〇川水系〇〇川〇岸

2 目的・・・⑦

〇〇橋（県道）架設のための護岸設置

3 場所・・・⑧

〇岸 〇〇k〇〇付近

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地先

4 工事の名称又は種類

高水敷護岸新築工事

5 工作物の名称又は種類

高水敷護岸

6 工作物の構造又は能力

平板ブロック護岸 〇〇〇m²

7 工事の実施方法・・・⑨

築堤工事を施工高まで行い、法尻に護岸工の基礎を造る。護岸を施工するため法面を掘削し、帯コン（20mおき）施工するクラシャーラン（40～0）を厚さ15cmに敷き、上に平板ブロックを並べ終了した後にメジを詰める。

- | | |
|---|-------------------------|
| 8 | 工期
承認の日から〇〇日間 |
| 9 | 工事の設計及び実施計画
添付図書のとおり |

(A 4 版)

【記載要領】

- ① 申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。
- ② 公共団体又は法人等についても「字〇〇番地」まで記載してください。
- ③イ 申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。
 - ロ 共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。
 - ハ 法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。
 - ニ 河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。
(令和2年12月23日 官報号外第267号)
- ④ 法第95条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第20条の承認について同法第95条の規定により協議します。」と記載してください。
- ⑤ この様式は、河川工事に係る承認申請の場合のものですが、河川の維持に係る承認申請の場合もこれに準じて作成してください。
- ⑥ 水系名、河川名、左右岸（河口に向かって）の別を記載してください。
- ⑦ 河川工事又は河川の維持の目的を具体的に記載してください。
- ⑧ 「字〇〇〇〇番地先」まで記載してください。当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合に「字」ごとに代表的なものを記載してください。河川の距離標を明記してください。
- ⑨ 申請工作物が完成に至るまでの工程、工法等がよくわかるように記載してください。また、工事の実施に当たっての治水上の措置、仮排水路及び工事に当たっての仮設物の措置等も記載してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書 正本1部 写し1部

【添付図書】

- 1 工事の実施計画及び財産の処分方法を記載した図書
- 2 位置図
縮尺は1／50,000とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と朱書し

てください。

3 河川工事に係る土地の実測平面図

- ① 縮尺は1/500程度としますが、地形の状況によっては1/100～1/1,000でもかまいません。
- ② 実測年月日を付記してください。
- ③ 申請に係る行為によって、当該河川に影響があると判断される区域まで実測したものとします。
- ④ 堤防、護岸、水制、寄洲等の状況、流水の方向等必要なものは図示し、申請区域及び関連施設等について平面的な外形配置の分かる図面にしてください。
- ⑤ 河川区域線を赤線で、官民境界線を赤点線で記入してください。
- ⑥ 横断図と照合できるように横断図の測点を記入してください。

4 河川工事に係る土地の縦断面図

申請した河川工事に係る工作物と河床（現況河床高及び計画河床高）と河川管理施設との関係が分かる図面にしてください。

5 河川工事に係る土地の横断図

- ① 測点間隔は、50m以内としてください。
- ② 申請工作物と河床（現況河床高及び計画河床高）と河川管理施設との関係が分かる図面にしてください。
なお、浚渫工事の場合には河床（現況河床高及び計画河床高）と浚渫工事における計画地盤高との関係が分かる図面にして下さい。
- ③ 河川区域、官民境界線、計画高水位を明示してください。

6 河川工事に係る工作物の設計図

工作物の除却にあつては、構造図を添付してください。

7 工程表

雨天等を勘案して作成してください。

8 工事費概算書

総体金額及びその内訳を記載した書面

9 土地登記簿附図（公図）

申請箇所の平面的な形を赤色で記入してください。

10 申請に係る行為又は事業に関する他の行政庁の許可、認可の取得又はその見込みに関する書類

許可書、認可書等の写し。なお、該当するものがない場合にはその旨を記載してください。

11 その他参考となるべき事項を記載した図書

- ① 行為面積計算書（*浚渫工事等、土地の形状を変更する工事の場合のみ。）
- ② 土地の形状を変更する工事の場合において、土砂等の搬入又は搬出を伴う場合にあつては、搬入、搬出の経路を示した図書